

皆さん今日は。本日は大変お忙しい中、私の区長就任記者会見にお集まり頂きまして、本当にありがとうございます。

3月1日の区長選挙におきまして、区民の皆様方をはじめ、各方面の力強いご支援をいただき、台東区政を担わせていただくことになりました服部征夫でございます。

私は今回、台東区長に選んでいただいた区民の皆様へ、まず感謝の気持ちを申し上げたいと思います。

台東区にとって、今年は2020年東京オリンピック・パラリンピックを5年後に控えて、まさに正念場、大変重要な年になります。私は区長として新しい台東区「台東新時代」の創造に向けて全力投球いたします。

本日、私はこの記者会見の前に都庁に伺い、就任直後に早速舩添都知事と副知事に挨拶をさせていただきました。今回の区長選挙で私が訴えてきた、台東区と東京都と国がしっかり連携して施策を推進する必要があるということ。これを区民の皆様にご評価いただき、その役割を地方議会一筋で働いてきた私に担わせていただいたことから、この思いを都知事にしっかりとお伝えし、都としても台東区と連携して動く旨のご賛同をいただきました。また、5年後に迫る東京オリンピック・パラリンピックについてもお話しをさせていただきました。国内外から成田や羽田に多くの方々が到着し、日本の伝統、歴史、文化を感じることのできる一番近くのまちは、上野、浅草、谷中であり、台東区です。

台東区には日本・東京の本物の文化資源があり、我々もまたそれを誇りにしております。台東区は、国内外からの観光客の皆様に対し、おもてなしの心を持った看板娘の役割を担わせていただき、台東区の伝統工芸、伝統文化、ものづくりなどオリンピック開催時のショウウィンドウになるのが台東区です。世界にそのメッセージを発信したいと申し上げ、都知事も大いにバックアップすると言っていました。

それでは、私が選挙時に掲げました5つの公約を簡単に申し上げます。

1つ目は地域産業と商店街の振興でまちを活性化することです。

私が選挙に出た2月22日から株価は続騰しており、すでに18800円台です。ただ、区民の方々は、これを実感できるものになっておりません。私は、景気回復を実感できるまちにするため、地域産業と商店街の活性化を推進していきます。具体例としては、女性や若者の創業・就労支援の拡充や、モノマチ・浅草モノづくりの祭典A-ROUNDなどの地域活性化事業を推進していきたいと考えています。

また、「新・元気を出せ商店街事業」、これは私が今まで都議会議員として最初から取り組んできた事業です。この事業を、台東区のみならず、近隣区と連携した商店街事業として更に推進します。ドライミストをつけるなどの環境対応型商店街活性化事業などをさらに推進していきたいと考えています。

2つ目は、安全と安心の防災とバリアフリーのまちづくりです。区民の皆様

の生命と財産を守りぬくため、東京都、警察、消防関係者はもとより、医療機関や自衛隊を含め連携を強化してまいります。また、地域の皆様の連携を更に強めていただき、日常生活の防犯活動から、災害時を想定した相互支援活動まで、地域活動を充実していただき、区民の皆様とともに安全なまちづくりを進めてまいりたいと考えています。

また、木造住宅密集地域に指定された谷中を防災都市に相応しいまちにして、周辺地域の安全性も向上させ、次世代に安全な都市・台東を築いてまいります。

防災と観光を両立するという観点から、浅草バス駐車場対策の推進、旧東京北部小包集中局跡地の活用など、浅草北部のまちづくりを進めるとともに、台東区全体の防災対策強化と観光による地域経済を活性化してまいります。

外国からの来訪者は、歴史と文化に根付いた台東区に感動を覚えるようです。このような環境を維持しながら、耐震化、不燃化にスピード感を持って取り組んでまいります。また、バリアフリーのまちづくりによる日常生活の安全対策にもしっかりと取り組んでまいります。

3つ目は、やさしさと人情が通う福祉の充実です。健康長寿社会と地域医療構想の推進、障害者のための地域社会ネットワーク整備、高齢者の元気づくり推進、保育サービス、子育て支援拡充等を行います。

特に台東区は、すでに健康都市宣言をしていますが、台東区の医療団体と連携し、地域と一体となって健康長寿社会を築き上げていきたいと思っています。

また、子育て支援、待機児童ゼロを目指して推進して参ります。

4つ目は、教育改革です。その基本は家族です。家族の絆を大切にしながら、日本の歴史、伝統と文化を大切にされた教育改革に取り組んで参ります。そして就学前の教育、保育の充実、更には質の向上を進めていきたいと考えています。

最後の5つ目ですが、歴史と文化のまちづくりです。

名誉区民のゆかりの施設である旧平櫛田中邸、横山大観先生の記念館など、文化・観光資源である歴史的建造物の保存・活用については、区だけではなく東京都・国と連携して推進していきたいと考えています。

また、谷中五重塔について、地元の方々がなんとか復元しようと10年ほど前から取り組んでおられます。この件も都知事に、お話しをしました。

都知事は、オリンピック・パラリンピックに向けて、明治の初めに浜離宮にあった純日本風の建物である迎賓施設・延遼館の復元を考えており、日本の誇る木造建築の技術を表現するという意味でも延遼館と谷中の五重塔を再建したいという話もしてきました。

台東区にある歴史と伝統に根付いた本物の文化が観光資源となり、地域の活性化、産業の活性化につながります。このことをきちんと踏まえたうえでの観光施策を行っていかねばなりません。

以上のような施策を実現するためには、台東区だけではなく東京都と国としっかり連携をしていかねばなりません。

私も今まで台東区議、東京都議と地方議会一筋に働いてきた経験・実績を最大限に活かして、これから取り組んでいきたいと考えています。

最後になりますが、「新しい台東区」を築くにあたっては、先ほど申し上げた施策を実施するだけでは足りません。これら区政情報を広く情報発信し、正しく認知して頂くことが重要です。

その情報発信にあたって、報道機関である皆様に、多くのご支援・ご協力をいただければなりません。ぜひ宜しくお願いいたします。

以上で、私の就任挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。